

まちの話題

児童生徒支援ネット 協定書締結



4月22日、中泊町教育委員会と金木警察署が児童生徒支援ネット協定を締結しました。締結式では、小寺一吉教育長と佐々木正明金木警察署長が協定書に調印し握手を交わしました。

これは町内の学校に在籍する児童生徒の非行や犯罪被害防止を目的に締結されたものです。今後は、警察側から少年が犯した非行事実について、在籍する学校に連絡する一方、学校からは、不審者による子供への声かけ、連れ去り未遂事案などの情報を提供し、児童生徒の健全な育成を目指していくものです。

出稼ぎ地域相談員に 委嘱状交付

4月13日、出稼地域相談員の方々に委嘱状の交付が行われました。中里地区の4人には町長室で、小泊地区の2人には小泊支所でそれぞれ加藤町長職務執行者より交付されました。委嘱期間は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの1年間です。

出稼者及び留守家族を支援するため、地域相談員が活躍することになりますので、よろしくお願ひします。委嘱された地域相談員は、次のとおりです。

竹内彦次郎(上豊岡)／横山 光枝(八幡)
中畑 良子(向町上)／野上 雅子(薄市上)
宮越 忠正(小泊派立)／佐藤 俊吉(下前中)



中泊町ホタルの会設立



滝ノ沢ふるさと砂防アイランドをツツジとほたるの里にしようと、4月28日、「中泊町ホタルの会」設立総会が開催されました。土砂災害防止と自然に親しめる空間の整備を目的に造られた砂防アイランドには、町が平成14年から3年かけて約3000本のツツジを植栽しました。また、中里小学校児童の協力を得て、ホタルの幼虫、ホタルのえさとなるカワニナの放流を行ってきました。これらの活動をさらに継続するために今回の会設立となりました。

今後は、5月にホタルの幼虫放流、6月にカワニナの餌やり、そして夏にはホタル鑑賞会などの活動が予定されています。